

2023

2.22

(水)

12:10

12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_OrjdII0IRwy6nbOD09NSTg

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

「愛してる」vs「大好き」

- 教科書に出てこない言語の習得 -

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)



Key Words

言語文化

異文化コミュニケーション

暗黙知

李 曉燕 准教授

九州大学 共創学部 地球社会統合科学府 社会的多様性共存コース



中国生まれ。2011年に北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)知識科学研究科博士後期課程を修了し、知識科学博士号を取得しました。中国大連外国語大学助教・講師(2002-2009)、北陸大学兼任講師(2008-2011)、文科省博士研究員(2011-2012)、九州大学大学院比較社会文化研究院助教(2013-2018)を経て、2018年5月から現職に着任しました。主な研究テーマは異文化コミュニケーション、言語文化の暗黙的知識の習得、学際教育研究など。2016年8月に公益財団法人博報児童教育振興会から第10回児童教育実践についての研究助成優秀賞を授与されました。著書は、『多文化グループワーク』による言語と文化の創造学習—知識科学の視点から見るアクティブ・ラーニング—(単著)(コ出版,2017年12月)、『学校プリントから考える 外国人保護者とのコミュニケーション』(編著)(くろしお出版,2023年3月刊行予定)などのほか、ジャーナル論文を多数発表しています。現在の研究プロジェクトでは、広島大学国際共創学部、山口大学国際総合科学部の共同研究者と連携して、この2つの学部と共創学部における学際教育の現状を明らかにする研究を進めています。

外国語学習は、タイタニックがぶつかったような冰山に例えられます。単語や文法がわかっているにもかかわらず、誤解を招いたり衝突が起きたりします。言語を支えている思考パターン、価値観等は水面下にあって、無意識的なものが多いからです。それらは、目には見えません。時にはまったく言語で表すこともできません。そのような知識を暗黙知と言います。本レクチャーでは、日本語・英語・中国語の例を挙げて対照しながら、外国語を学習する時によくぶつかる問題について説明します。特に、言語と文化の関係、および文化の差異によるコミュニケーション / 言語習得の困難などについて、議論を交えて話を進めます。